



①久津川国民学校児童の慰問文 昭和17年(1942年)頃
立命館大学国際平和ミュージアム蔵



②寺田国民学校の学芸会「水兵の母」昭和17年(1942年)頃



③防空頭巾 本資料館蔵



④自作の模型を持って 富野国民学校 昭和17年(1942年)頃



⑤女学校のなぎなた訓練 古前ツユ子氏提供

今年は、昭和20年(1945年)に太平洋戦争が終わって75年になります。戦争が終わった年に生まれた人も75歳になります。戦争を体験した人たちの話を聞くことも年々難しくなり、戦争体験の次世代への継承が課題となっています。

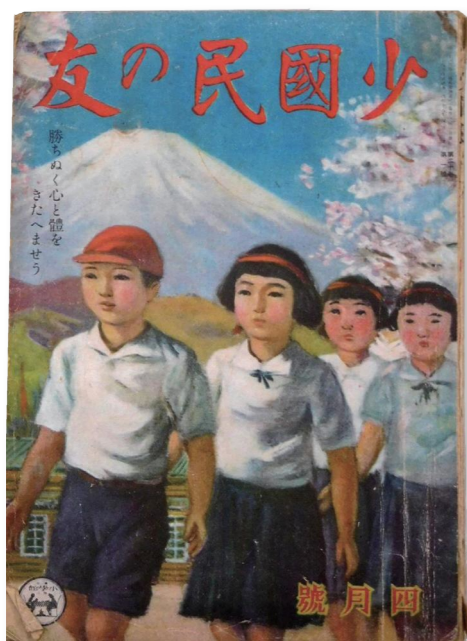
城陽市歴史民俗資料館では、戦後75年目にあたり「戦争と子どもたち」というテーマで展示をします。75年前の子どもたちが、どのように毎日を送っていたのか、今の子どもたちにも身近な視点から、戦争とはどういうものであったのかを考えていきたいと思えます。

本展が、75年前の子どもたちと今の子どもたちをつなぎ、平和を願う心をつないでいく一助となれば幸いです。

※写真の番号は表紙の写真番号と対応します。



⑥紙芝居「私達の一日」昭和20年(1945年)
京都市学校歴史博物館蔵



⑦『少年の友 四月号』昭和18年(1943年)
南丹市立文化博物館蔵



⑨青谷国民学校5年生 学校のいも畑で
昭和19年(1944年)8月頃 久保田勝子氏提供



⑩和裁用へら台 本資料館蔵



⑧出征時記念写真 脇田健氏提供